

◆平成28年度学生募集!

後期AO入学選考エントリー受付中!!

企画広報室 小林 昌人

だんだんと寒い日が多くなり、街ではイルミネーションの準備が始まり、冬の訪れを感じる季節がやってきました。季節の変わり目は風邪をひきやすいので、体調管理には十分気をつけてくださいね。

さて、皆さんの後輩である来年度の入学者が続々と決定しています。また、11月16日(月)からは後期AO入学選考のエントリーも開始されました。皆さんの中にもアドミッションポリシーに共鳴し、「ぜひ中村学園で学びたい!」とAO入学選考での受験に挑戦し、合格を勝ち取った方も多くいるはず。高校の後輩や兄弟姉妹等で電子情報系統や福祉医療系統を希望している方がいらっしゃれば、是非、オープンキャンパスへの参加、後期AO入学選考を勧めてみてください!

今年度も入学者の中には、オープンキャンパス等で在学生の皆さんと触れ合い、「この先輩のように楽しく充実した学校生活を送りたい!」と希望をもった方もいます。高校生にとって、年代の近い学生の話は新鮮で、とても参考になっているようです。さらに皆さんの後輩が増え、中村学園が今以上に盛り上がり、12月以降もオープンキャンパスの開催を予定しています。

皆さんが今こうして中村学園で活躍できるのは、ご自身の努力や、ご家族の応援そして、学校を盛り上げ続けてくれた先輩方のおかげでもあります。皆さんが『建学の精神』『校訓』『教育方針』を体現し、成果を上げることは後輩の励みにもなります。

就職活動や学校生活を各自がんばって、みんなで中村学園を盛り上げていきましょう!

*後期AO入学選考

・A日程 エントリー期間: 11/16(月)~12/11(金)

・B日程 エントリー期間: 1/12(火)~ 2/29(月)

*入学選考日

第3回入学選考 12/19(土) 特待・自己推薦・一般
社会人・留学生 選考

*オープンキャンパス、学校・入試説明会 日程

- ・12/5(土) 13:00-15:00
- ・16(水) 17:00-18:30
- ・1/16(土) 13:00-15:00
- ・28(木) 17:00-18:30

個別相談会
保護者説明会
同時開催



12月の行事

1日(火) 3TW 第6期実習(~12/25)

1CP 保育実習Ⅱ 事前研修

2日(水) 2W 海外研修修学旅行(~12/6)

5日(土) オープンキャンパス 13:00-15:00

☆託児所:あり

6日(日) B 検

10日(木) MIS 卒研発表会

16日(水) オープンキャンパス 17:00-18:30

CP スクーリング(~18(金))

18日(金) J 検 CBT

19日(土) 第3回入学選考 ☆託児所:あり

22日(火) PM 防災訓練・大掃除

23日(水) 天皇誕生日

28日(月) 仕事納め



1月の行事

1日(金) 元旦

5日(火) 仕事始め

6日(水) 後期再開

7日(木) CP スクーリング

11日(月) 成人の日

12日(火) 2CP 保育実習Ⅳ(保育所)

16日(土) オープンキャンパス 13:00-15:00

☆託児所:あり

18日(月) 1TW・CW 第1期実習(~1/30)

21日(木) J 検 CBT

25日(月) 1CP 保育実習Ⅱ(保育所)

E 職場体験④

28日(木) オープンキャンパス 17:00-18:30

30日(土) ☆託児所:あり



◆卒業年次は、最後の奮闘を。

進級年次は、「新スケジュール」対応の準備を

進路室長 橋野 幸男

11月後半に、次のような調査結果公表や報道がありました。

- ・「28年3月卒業予定者」の「就職内定」状況について
- ・「29年3月卒業予定者」に関する「選考開始時期」の変更について

その概要などを、順に見ていきましょう。

(1) 全国・県内の「就職内定」状況は

	全国〈10月1日現在〉	県内〈10月末現在〉
専門学校	48.2 % 〔前年同期差 -0.8 p〕	67.2 % 〔前年同期差 +6.6 p〕
大学	66.5 [-1.9]	58.3 [-3.1]
短期大学	33.2 [+6.5]	46.1 [+1.5]

〔注〕「全国」は、文部科学省・厚生労働省調査(公表:11月20日)

・「県内」は、静岡労働局調査(公表:11月24日)。専門学校は、抽出15校

・「p」は、%ポイント

報道では、「全国・大学」について次のようにコメントしています。

- ・「この時期に大学生の内定率が前の年を下回るのは5年ぶり、ことし大手企業を中心に面接などの採用選考が例年より4ヶ月遅い8月から始まり、内定が出る時期が遅れたことが影響したとみられます。」(『NHK ニュース』11月20日)
 - ・「大企業が選考を繰り下げた結果、中小企業の採用の遅れが目立つ。…ただ、文科省担当者は、『売手市場は続いており、12月時点や最終的な内定率は前年並みか、上回るのではないかと期待する。…リクルートキャリア『就職みらい研究所』の岡崎仁美所長は『大幅な日程変更で混乱を招いたが、中小を中心にまだ“空席”は多く残っている』と話している。」(『日本経済新聞』同日)
 - ・「大学などで作る就職問題懇談会が20日に公表した調査結果では、前年10月1日時点より内定率が下回った大学は30.8%。上回った大学の26.9%より多く、…」(『静岡新聞』同日)
- なお、(株)ディスコの『大学の就職・キャリア支援活動に関する調査/2015年11月発行』でも、次のような記載があります。

- ・「(内定状況が)前年度と比較して『高まっている』という大学が全体の22.5%で、『低下している』が21.7%、『変わらない』が50.2%だった。前年調査では『高まっている』が6割近くを示し[59.4%]、内定状況が大きく改善している様子が表れていたが、…」また、『就職支援として実施していること、課題に感じていること』の自由記入として、
- ・「内定の出た学生と出ない学生の二極化がさらに広がったことを実感しています。世間では『売手市場』で企業が採用に苦戦し、内定辞退を食い止めることに躍起になっている報道がされています。しかし、内定状況についてはようやくこのタイミングで昨年と並んだ状況であり、…」(私立大学)という記載があります。

「売手市場」と言われる中でも企業の「採用基準を緩和」は限定的なものに止まっており、安易に「大手志向」に走った学生は苦戦しているのではないのでしょうか。

周知済みのとおり、静岡労働局・県など主催『第3回・大学生等就職フェア』は参加申込企業が多数で、「2部制」での実施となっています(例えば、12月2日・静岡会場は152社)。活動中の学生には、まだまだチャンスがあります。果敢なチャレンジを期待します。

② 次年度、面接開始は「6月1日」と2か月繰り上げ

経団連による『採用選考に関する指針』改定の方針を、11月20日、大学側(就職問題懇談会)が受入れる姿勢を示しました。これによって、「29年3月」卒業予定者に関する採用選考スケジュールが、以下のように、僅か1年で再変更されることが固まりました(なお、同懇談会は、変更受入れは同年卒業予定者の就活に限ったものとしています。また、経団連の正式公表は、12月7日の予定です)。

	広報開始	選考開始	内定
① 29年3月卒	3月1日	6月1日	10月1日
② 28年3月卒〔現行〕	3月1日	8月1日	10月1日
③ 27年3月卒まで	12月1日	4月1日	10月1日

新スケジュール下での採用・就職活動で留意すべき点を、いくつか考えてみましょう。

- ・企業が採用広報に費やせる期間が、「③：4ヶ月 → ②：5ヶ月 → ①：3ヶ月」と、かつてない短さとなり、この短期間で「学生の自社に対する認知度」を上げなければならない。このため、採用広報活動はできなくても仕事内容の認知につながる「インターンシップ」の重要度が高まり、これを導入する企業が増加するとみられる。

・今年度(28年3月卒)、選考開始日(8月1日)以前に面接を開始した企業の、面接開始月のピークは、前年度と変わらない4月だった。次年度について選考開始日の変更されても、これら企業の面接開始のピーク月は変わらないものと思われる。ただし、「選考開始日の2ヶ月前倒し」を意識して、多くの企業がやや早めに動こうとするとも考えられ、3月・4月に面接を開始する割合がある程度高まると予想される。

次年度も、企業の採用スケジュールは多様化するものと考えられます。学生は、「3月1日からはリクナビ・マイナビで。それ以前は、自社HPで」など、企業ごとの採用活動に関する情報を的確にキャッチして対応することが重要です。既に、電子情報・1年生向けの求人票が来信しており、また、「インターンシップ」参加や志望技術分野の「フェア」見学を体験している学生もいます。さらに活発な「就活準備」活動を心掛けてください。

◆職場体験③を終えて

ICT情報システム学科 1年 尾崎 純平

職場体験③の一環として参加したICTトレンドセミナーには、数々のIT企業が参加しており、多くの企業がマイナンバー制度についての説明や、制度開始に伴う対策をしていました。マイナンバーの影響は大きく、全ての企業が社員全員のマイナンバーを管理し、社員が辞めた場合は、社長が責任を持って処分しなければなりません。また、個人情報扱うので、プライバシーの保護や、セキュリティの強化を行う必要があると感じました。

ある会社では、給与システムの取扱いなど専門の人しかできない仕事を完全に外部委託することによって、自分たちのやるべき仕事に集中することができる業務体制をとっていました。これは効率よく仕事をするためのアイデアとして画期的だと思いました。

また、掛川市は「掛川茶んねる」という市の情報公開や子育て支援を行っているサイトを紹介しており、私達が現在ゼミナールの授業で開発している「子育て支援アプリ」の参考にすることができました。

ICT映像・音響デザイン学科 1年 伊東 大知

この度、大道芸ワールドカップの音響サポートの「職場体験」をさせて頂いて学んだ事は主に2つあります。

1つ目は、舞台上上がるアーティストさんとコミュニケーションを取ることです。舞台上上がる前に、どのタイミングで音楽を流すのか、また仕事以外の会話も積極的に行い、リラックス出来るように配慮している社員の方々の姿がとても印象的でした。

2つ目に大事なことは、体力がとても重要だと感じました。長い時間外で立っていたり、使用機材であるスピーカー運び等は、かなりの重量でした。

この職場体験で得た事を、今後のインターンシップや就職活動で活かしていきたいと思います。

◆第4期実習を終えて

総合福祉学科 2年 藤原 愛

今回の第4期実習は、私たち総合福祉学科にとって介護分野のまよめの実習でした。3期実習より1週間短い期間での介護計画立案のため、対象者様と良い信頼関係を築くことができるか不安の中、実習に臨みました。

今回の対象者様はアルツハイマー型認知症で、環境の変化で頻繁に徘徊がみられる方でした。そこで、以前行っていた編み物という回想法を取り入れ、他に向く集中を1つの活動に向けるという計画を立案しました。実施結果としては、1時間に15回を超えていた徘徊は1度もなく、活動に集中し楽しそうに行う姿を見ることができました。さらにバリデーションを用いたコミュニケーションを図ることで、私自身も安心できる環境の1つとなり、対象者様の不穏を軽減できたのではないかと思います。

20日間の実習を終え、介護の難しさや楽しさを改めて感じることができました。今後はこの経験を生かし、第5期実習に向けて幅広い視野と思いやりの心を持ち、さらに学びを深めていきたいです。

介護福祉学科 2年 佐藤 真樹

第4期実習は、介護福祉学科最後の20日間の実習でした。今まで学んだことを活かそうとのぞんだ実習でしたが、始まってすぐに、高次脳機能障害のある対象利用者様とのコミュニケーションに戸惑いました。また、日常生活支援の場で、利用者様の気持ちが動くような思いやりのある声かけが思うようにはできませんでした。さらに、当たり前でできると思っていた「報告」についても、指導者様から注意を受けました。「できる」と思っていたことが、実は「できない」ということを様々な場面で思い知らされました。就職の内定も頂いており、来年度からはいよいよ社会人になります。卒業は「ゴール」であると考えていましたが、今回の実習を通して、同時に「スタート」でもあるということ強く感じました。

残り少ない学校生活、そして就職してからも学び続けて研鑽を重ねて、仕事を通して自己実現を図ります。

最後になりましたが、第4期実習で関わってくださった皆様に心より感謝いたします。本当にありがとうございました。